

(お知らせ)

聳島に移送したアホウドリのヒナ全羽の巣立ちについて

環境省自然環境局 同時発表

平成 23 年 5 月 25 日(水)
(財)山階鳥類研究所

むこじま

小笠原群島聳島におけるアホウドリの新繁殖地形成事業として、今年の 2 月 8 日に伊豆諸島鳥島から聳島までヘリコプターで移送したアホウドリのヒナ 15 羽 (オス 8 羽、メス 7 羽) が、5 月 25 日までに聳島の飼育サイトより巣立ちましたので、お知らせいたします。(ただし、4 月 30 日に飼育サイトから 1 羽が姿を消しておりますが、正常な巣立ちとしては早すぎると考えています)。

移送したヒナは移送後約 3 か月間、(財)山階鳥類研究所の研究チームからの給餌を受け、順調に成長してきました。5 月 12 日に 2 羽 (オス 1 羽、メス 1 羽) が巣立った後、他のヒナも順に巣立ちを迎え、25 日に最後のオス 1 羽が巣立ちました。

巣立ち後のヒナは、北太平洋のベーリング海やアリューシャン列島、アラスカ沿岸、アメリカ西海岸まで渡っていくものと予想されます。

今回巣立ったヒナ 15 羽のうち、7 羽に衛星発信器を装着していますので、今後の巣立ち後の行動についても明らかとなる予定です。

また、これまで聳島へ移送したヒナの帰還を確認した数が 7 羽であったことも、併せてお知らせします。

※この事業は、(財)山階鳥類研究所が、環境省、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施しているものです。

● ヒナの巣立ちについて

巣立ち日	巣立ち羽数	♂♀	備考(発信器の有無)
(4月30日)	(1羽)	(メス1羽)	(正常な巣立ちとしては早すぎる)
5月12日	2羽	オス1羽 メス1羽	●発信器装着
5月13日	1羽	メス1羽	●発信器装着
5月17日	1羽	オス1羽	
5月19日	1羽	オス1羽	
5月23日	4羽	オス4羽	●発信器装着×2
5月24日	4羽	メス4羽	●発信器装着×2
5月25日	1羽	オス1羽	●発信器装着

計 15 羽

(発信器装着:計 7 羽))

● 聳島巣立ちヒナの帰還状況について (平成 23 年 5 月 25 日現在)

帰還確認日	個体番号	♂♀	備考(何年に移送した個体か)
2月10日	Y01	オス	3歳(平成20年移送)
2月25日	Y04	オス	3歳(平成20年移送)
3月12日	Y03	メス	3歳(平成20年移送)
3月17日	Y06	メス	3歳(平成20年移送)
3月26日	Y24	オス	2歳(平成21年移送)
4月1日	Y07	オス	3歳(平成20年移送)
	Y10	メス	3歳(平成20年移送)

計 7 羽

<次のページにつづく>

○これまでの経過

<平成19年>

3月～6月 近縁種のクロアシアホウドリによる飼育試験を実施

<平成20年>

2月19日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ10羽（雄4羽、雌6羽）を、ヘリコプターに載せて、小笠原群島聳島まで移送。

↓ （山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。）

5月19日～25日 ヒナの巣立ち

5月～9月 人工衛星追跡を実施し、追跡できた4羽がベーリング海へ到達。
聳島の飼育ヒナと鳥島の野生ヒナの巣立ち後の行動に大きな違いは見られなかった。

<平成21年>

2月5日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽（雄10羽、雌5羽）をヘリコプターに載せて、小笠原群島聳島まで移送。

↓ （山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。）

5月11日～25日 ヒナの巣立ち

<平成22年>

2月8日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽（雄11羽、雌4羽）をヘリコプターに載せて、小笠原群島聳島まで移送。

↓ （山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。）

5月18日～29日 ヒナの巣立ち

<平成23年>

2月8日 伊豆諸島鳥島において捕獲したヒナ15羽（雄8羽、雌7羽）をヘリコプターに載せて、小笠原群島聳島まで移送。

↓ （山階鳥類研究所の職員が聳島に滞在し、ヒナの人工飼育を実施。）

2月10日 平成20年に巣立ちしたヒナ（3歳、雄）の聳島への帰還を確認

5月12日～25日 ヒナの巣立ち

● ヒナの写真



巣立ちの3日前の Y56 (5月9日)



羽ばたきの練習をする幼鳥 (5月9日)
右手前はデコイ(模型)



巣立ち後、海上で羽ばたきの練習をする
Y56 (5月12日)



巣立ち後、海上で羽ばたきの練習をする
Y54 (5月12日)

写真提供：財団法人山階鳥類研究所

※今回は、新たな写真の提供はございません。5月12日に発表しました写真を参考に添付しています。写真のデジタルデータをご希望の方は下記までご連絡ください。

(財) 山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山 115)
広報担当 平岡考
電話：04-7187-1101 (17時以降 04-7182-1104)、Fax：04-7182-1106
メール：hiraoka@yamashina.or.jp